

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業

政策名	物流・産業	責任者	港営部 港湾管理事務所長
施策名	産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成	連絡先	052-398-0503
事務事業名	臨港道路の維持管理	連携課	事業推進課、工事課、港湾工事事務所
目的	対象(誰・何を)	事業期間	昭和26年度～継続
	意図(どういう状態にしたいか)		
概要	臨港道路を巡視することにより、損傷した箇所があれば速やかに応急処置を行います。	根拠法令等	名古屋港湾施設条例
活動内容	臨港道路の巡視、障害物の除去、損傷箇所の補修を行います。	実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	28年度	29年度	30年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	26,702	30,228	24,965	27,298	降雪が少なく橋面融雪の費用が少なくなったことによるものです。
人件費	千円	16,389	16,540	24,188	19,039	
合計	千円	43,091	46,768	49,153	46,337	

3 CHECK(検証)

指標名		28年度	29年度	30年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因	
道路損傷等に起因する事故件数(件) (単年度管理型)	目標	0	0	0	0	道路を管理する立場として、道路損傷等に起因する事故件数を0件にすることは重要な責務と考えます。		
	実績	0	0	1				
	事業進捗状況(30年度)				目標値を上回る 目標値をやや下回る			目標値どおり 目標値を下回る
補修箇所(箇所) (単年度管理型)	目標	-	-	-	-			
	実績	246	251	341				
	事業進捗状況(30年度)				-			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	管理瑕疵に起因する事故件数は1件で、目標が達成できませんでした。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	陸上輸送では臨港道路を100%利用します。臨港道路の管理は本組合に課せられた責務であり、利用者の安全を確保する必要があります。また物流活動において臨港道路を良好に保つことは重要であり利用者ニーズに適しています。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○	臨港道路の良好な状態は港湾の物流機能の維持に貢献しています。					
	期待どおりの成果が得られているか?	△	道路管理瑕疵に起因する事故件数は近年1件でした。					
効率性	最小のコストとなっているか?	○	臨港道路の巡視により損傷箇所を早期に発見し、応急的補修等を必要最低限のコストで実施し、効率よく良好な状態の臨港道路を保っています。					

4 ACTION(取組)

課題	令和元年度以降の取組
臨港道路を良好に維持することにより、通行車両の安全かつ快適な走行を確保していくことが課題です。	事故防止などの安全対策を維持して行っています。